

## 9月の納税

1. 固定資産税 3期
2. 晩秋蚕共済掛金 全期

## 9月1日の人口と世帯

世帯数 2,712戸  
男 6,885  
女 7,231  
計 14,116

発行所 群馬県甘藷郡甘藷町  
大字小幡甲852  
甘藷町役場  
電話(小幡)4番・44番・49番  
編集 総務財政課 企画文書係  
印刷所 坂本印刷株式会社

### 39年度収支状況表 (一般会計決算見込)

区分		収入額	構成比
町	税	39,160	26.17
地方交付税		61,566	41.14
分担金及び負担金		1,495	1.00
使用料及び手数料		2,367	1.58
国庫支出金		11,695	7.81
県支出金		4,820	3.22
財産収入		1,027	0.69
寄附金		1,868	1.25
繰越収		3,152	2.11
諸収		7,091	4.74
町債		15,400	10.29
歳入合計		149,641	100

区分		支出額	構成比
会議費		6,690	4.55
総務費		35,142	23.92
民生費		12,818	8.72
衛生費		4,264	2.90
労働費		35	0.02
農林水産業費		18,795	12.79
商工費		562	0.38
土木費		18,392	12.52
消防費		5,125	3.49
教育費		41,287	28.10
災害復旧費		171	0.12
公債費		3,663	2.49
歳出合計		146,944	100

★農業共済会計  
39年度の決算見込みは、次のとおりです。  
歳入 1,745万6千円 歳出 1,622万4千円

★小幡簡易水道会計  
39年度の決算見込みでは  
歳入 775万円 歳出 752万1千円

★天引金井簡易水道会計  
起債償還経理のみです。39年度は元利16万3千200円40年度も同額償還予定です。

★町有林分収取造林事業会計  
昭和38年より稲倉山の町有林に造林分収より資金を繰り入れて60町歩の造林を5年計画で行なおうとして、目下実行中です。39年度は9・4町歩の新植と9・4町歩の手入れを行なつたわけです。40年度も新植10町、補植9・4町歩を計画しております。  
決算見込みは次のとおりです。  
歳入 142万7千円 歳出 142万7千円

### 三十九年度 収入支出の状況

一般会計  
三十九年度の決算見込みによつて、町税収入状況は、九八%と良い成績です。三十五年までは町税よりも交付税の方が少なかったものが、三十六年度からはその反対となり、その差もだんだん大きくなつてきました。三十九年度

は町税百に対して、交付税一五七余という割合になり、歳出では投資的経費に五百六十万円、(三十五%)、消費的経費に七千二百五十万円、(四十九%)、補助費等に千二百六十万円、(八%)となつて見込みです。  
この收支の状況を表にしますと、左表のとおりです。

### 国民健康保険会計

地域差の廃止、七割給付の実施、医療費の値上げ、受診率の増加など、医療水準の向上によつて保険給付費が増長し、国保会計は大きなピンチに直面しました。  
そこで慎重に検討の結果、保険料を三十九年度に比べ五割引上げることになりました。四十年度保険給付費はまた四分を削減したばかりで、なかなか予算を許さないと

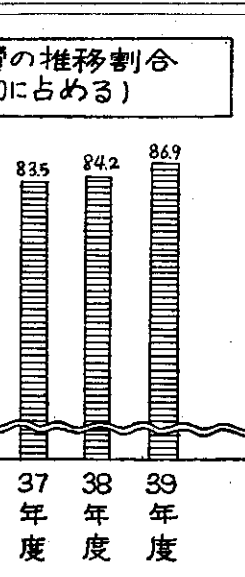
ろです。  
三十九年度の決算見込みでは、ついに収入支出のバランスがくずれ、最悪の事態になり、当町発足後はじめての赤字、二百一十二千円を生じました。  
昭和四十年から、歳出面において占める保険給付費の割合を減らしますと、上記のとおりになります。

### 四十年度予算

歳入では、個人町民税の本文方式の課税により減収となり、法人税は不況をもとに減収となつています。  
そこで地方交付税の増額を強く要望しているにもかかわらず、国でも財源がないといふことであまり引き上げられませんでした。  
このように、のびやかな財源のなかで、歳出では公共投資や義務的経費が増長し、一億七千万円という大きな予算規模になり、大きく背伸びしているかたちになつています。これは、いかえれば、か

### 町の財産と借金

- ◎ 土地 山林、原野、宅地など 180町6反6畝25歩42
- ◎ 建物 学校・役場・出張所など延坪数6,470坪875、評価額1億6296万3千円
- ◎ 積立金 財政調整基金や役場庁舎建設積立金など718万4,032円
- ◎ 有価証券 割引電信電話債券など額面125万2100円
- ◎ 公債 一般会計では、小中学校建築関係などの公債や、今回新たに町民税がただし書方式課税から、本文方式課税になつたことによつて、減税となる分に対してこれを補うための公債など4,434万7,850円  
特別会計では天引金井簡易水道会計の165万8,716円。



### 税等の住民に対する状況

(人口1人当り) (39年度は決算見込み額)  
(世帯1世帯当り) (40年度は予算額による)

項目	町税総計		町民税		固定資産税		軽自動車税		たばこ消費税	
	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り
39年度	2,765	14,461	595	3,111	1,297	6,786	191	1,000	474	2,481
40年度	2,687	14,018	501	2,596	1,328	6,927	206	1,076	499	2,281

### 財政のうごき

経済界の不況は、地方財政をも圧迫しつつありますが、その原因は経済成長のヒズミであるといわれます。特に市町村などでは、合併後の新市町村建設計画の実施により行政水準の向上、つまり財政投資の増や、義務的経費がふえてくるのに対し、地方税や地方交付税がそれに見合うだけはいつてきない、などが原因といえます。  
昨年、地方税法の改正によ

### 財政面の多難続く

#### 税率は九八%に

町の財政事情が公表されました。この財政状況は、七月一日現在のものです。三十九年度四十年度の各会計の状況が発表されたものです。広報では町の条例の定めるところにより、そのあらましをお知らせいたします。

つて、市町村民税の課税方式が従来のただし書方式から本文方式となつたわけですが、本町でもこれによつて、三十八年度に比し三十九年度は二百八十七万円、同じく四十年度は三百九十三万円程度の減税が見込まれています。  
ひじょうに多くの国や県からの委任事務と、これに伴う補助交付金や地方交付税をあわせて、収入の大半をこれらに依存している市町村は、「事実上は三割自治体」などとかげでは言われていす。このような中であつて、四十年度の町の財政は、決し

### 40年度の収入支出の状況

- 一般会計  
40年度予算額1億7199万1千円のうち6月までの状況は  
収入 4,222万2千円  
支出 2,469万9千円
- 国民健康保険会計  
40年度予算額4,497万2千円のうち6月までの状況は  
収入 1,180万2千円  
支出 758万6千円
- 農業共済会計  
40年度予算額2,506万9千円のうち6月までの状況は  
収入 214万7千円  
支出 214万7千円

ぎられた財源のなかで、精いつばいの仕事をしているからと思ひます。過言ではない。

てよゆうのもてるものとはいえないわけでは

昭和39年度決算見込みと40年度予算額についてみると、次表のとおりです。  
注 町民税は個人・法人を含み、固定資産税は、純固定資産税と交付金納付金(国有林、上信電気鉄道敷の固定資産税等)を含む。対象となつた人口・世帯は39年度は、人口14,164人、世帯2,708 40年度は人口14,123人、世帯2,707

項目	電気ガス税		木材取引税		地方交付税		歳入合計		歳出合計	
	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り	1人当り	世帯当り
39年度	198	1,043	10	51	4,347	22,735	10,275	53,740	10,082	52,732
40年度	149	776	7	37	4,350	22,679	12,171	63,536	12,171	63,536

### 町に居住する者を調査

町では、九月十五日現在、甘藷町に居住している人の調査を行なっています。  
この調査は、基本選挙人名簿を作成したり、住民登録が正しくなされるため、どうかを確認するために、毎年行なわれるものです。すでに、区長や組長を通じて、調査票がみなさんの

家庭へ配付されているはずで、必ず、正しく記入してください。記入もれがありますと、甘藷町の町民として当然受けられるいろいろな権利がなくなるはかりでなく、基本選挙人名簿にも登録されず、あとで大きなきき起すこととなります。

9月15日現在で調査

採用、小幡小給食調理人  
田村勝久(秋畑)、水上こう(善慶寺)、大沢つる(国峯)

9月13日付

タバコは町内で買ひましょう